

令和2年12月24日

保護者各位

種子島高等学校長

冬季休業期間中の新型コロナウイルス感染症対策について（お願い）

師走の候、保護者の皆様におかれましては、平素から本校の教育活動に深い御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、感染の状況について、12月に入ってから、県内でもクラスターが発生するなど感染が拡大している状況にあります。先日、県知事から年末年始に向けて、三密を避ける、マスクを着用する、しっかり手洗いをするなど基本的な感染予防対策を行ってほしいとのメッセージが出されました。

つきましては、冬季休業期間中も各御家庭において下記のとおり「新しい生活様式」を踏まえた感染症対策について御理解と御協力をお願いします。

記

1 基本的な感染症対策について

- (1) 冬季休業期間中も3密になりそうな場所への移動を避けてください。
- (2) 可能な限り常時換気に努め、暖かい服装を心がけてください。
- (3) 島外等へ移動する場合はその行動履歴を手帳等に記入してください。
- (4) 毎日自宅で健康観察を行い、発熱等の風邪症状が見られる場合は、自宅で休養させてください。冬季休業期間中も、健康観察や検温を行い、その結果を手帳等に記録してください。
- (5) 冬季課外や部活動等で登校する際は清潔なハンカチ・ティッシュ・マスク・マスクを置く際の布（ハンカチなど）を持参させてください。ただし、集団による部活動は、1月3日まで自粛してください。
- (6) 今後も家庭全体で「新しい生活様式」を実践していただき、裏面の資料を参考に、感染症対策に取り組んでください。

2 その他

- (1) 学校行事の変更等、学校からの連絡等につきましては、随時本校の公式ブログでお知らせします。
- (2) 感染者、濃厚接触者とその家族、医療従事者とその家族に対する偏見や差別につながるような行為は断じて許されないものであり、感染症に関する適切な知識を基に、偏見や差別が生じないよう御理解と御協力をお願いします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

